

建設通信新聞

技術講習会に150人

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会（原裕理事長）は、仙台市内の仙台国際センターで2022年度（第25回）ミラクルソル工法技術講習会を開いた。写真。約150人の建設技術者らが熱心に耳を傾けた。



冒頭あいさつで原理事長は、ミラクルソルの開発経緯

などを紹介した。続いて「東北地方整備局の取り組み」と題して、同局の二瓶昭弘企画部技術調整管理官が自然災害への対応状況などを語った。

この後、原理事長が「環境と防災とミラクルソルでめざすグリーン社会」をテーマに講演した。連続間隙構造と独立構造の素材開発で生まれた「ミラクルソル」について、緑化工法・大規模盛土の排水工法やグリーン社会実現につながるFWG透保水性舗装工法などを解説した。

この後、同協会顧問の荒木宏之前佐賀大低平地沿岸海域研究センター長が「ミラクルソルの水質浄化特性」と題して、多孔質・軽量で水質浄化機能にも優れるミラクルソルの基本性能や水質浄化への適用などを説明した。

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2022